

**製品名: Jun D ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12853**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000,IP 1:20-1:50
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	JUND
別名	JUND; Transcription factor jun-D
遺伝子 ID	3727.0
SwissProt ID	P17535
免疫原	抗血清はヒト JunD 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 222-271

**背景**

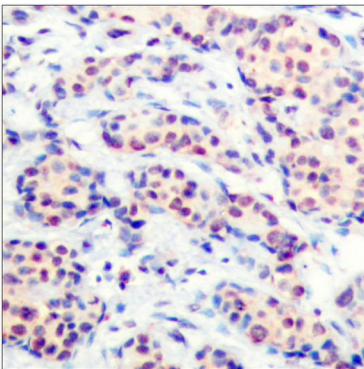
このイントロンレス遺伝子によってコードされるタンパク質は JUN ファミリーのメンバーであり、AP1 転写因子複合体の機能的構成要素です。このタンパク質は、p53 依存性の老化およびアポトーシスから細胞を保護することが示唆されています。代替的な翻訳開

始部位の使用により、異なるアイソフォームが生成されます (PMID:12105216) 。 [RefSeq 提供、2013年11月]機能: AP-1 部位に結合し、共導入により AP-1 部位を有するプロモーターの活性を刺激します。類似性: bZIPファミリーに属します。Jun サブファミリー。類似性: 1つのbZIPドメインを含みます。サブユニット: 二量体としてDNAに結合する。、

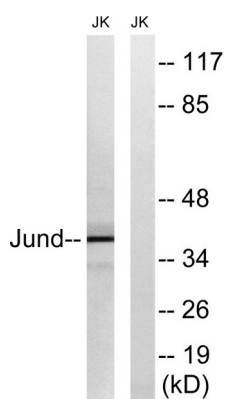
## 研究分野

MAPK\_ERK\_成長;MAPK\_G\_タンパク質;

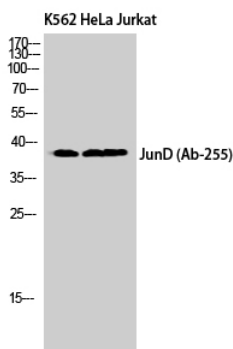
## 画像データ



JunD抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



JunD抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Jun D ポリクローナル抗体を使用した K562 HeLa Jurkat 細胞のウェスタン ブロット分析。